



# コーちゃん・オーちゃんの 「見つけた！豊岡元気人」



仲間と共にアカペラコンピックを企画



パートごとに練習、アカペラレッスン



アカペラと出会い、ますます歌が大好きに

## 響かせたい 豊岡のまちに 歌声を

アカペラコンピックinとよおか実行委員会委員長として、豊岡をアカペラ（無伴奏による合唱）で盛り上げる元気な女性を紹介します。

真野亜都子さん（32歳）瀬戸

真野亜都子さんは「一人でも多くの方に、アカペラに関心を持ってもらいたい」と、アカペラコンピック（アカペラ・コンテスト）やアカペラレッスンを企画する仕掛け人です。

### 始まりは独学によるピアノ

真野さんが音楽に興味を持ち始めたのは小学生時代。家にあつたピアノを弾くうちに、音楽の楽しさに目覚めました。独学でピアノを学び、自分流にアレンジした曲を弾きながら、その旋律に合わせて歌いました。「自分流でやるのが楽しかった」と振り返ります。

高校では合唱部に入部。また、音楽を勉強するため、高校2年のときに地元の劇団に入団。「高校卒業後は、歌の専門学校に進学したかった」という理由です。劇団では、歌・ダンス・芝居を学び、男の子役を演じるために、それまで伸ばしていた髪をバツサリ切るなど、役作りに徹しました。

### 人の喜ぶ顔がうれしくて

「感動したよ」…劇団で活躍していた真野さんへの、豊岡にいる友だちからの一言です。「地元の方が、自分の音楽活

動を喜んでくれている」…真野さんは、うれしさとともにやりがいを感じ、進学より、地元に残って音楽活動を続けることを決意しました。

高校卒業後、社会人として働きながら、劇団の活動を続けていた真野さんの元に、「第1回アカペラコンピックの実行委員会に参加してみないか」との誘いが舞い込んできました。

### アカペラコンピック

「アカペラコンピックinとよおか」は、豊岡で開催するアカペラ・コンテストです。毎年1回開催されており、今年も10回目の大会が、9月1日（土）に、市民会館で開催されます。豊岡以外からの出場チームも多く、この大会の開催を心待ちにしているファンも多いとか。真野さんは「出場チームのレベルは年々上がってきています。また、会場内のイベントも好評で、お客さんから、『楽しかった、歌でこんなに感動するなんて』とかわれると、次も頑張ろうという気持ちになります。今年も大会も期待してください」と笑います。

### 裾野を広げるために

同実行委員会は、将来のアカペラコンピックの出演を目指したアカペラレッスンを市内で開催しています。今年も、委員会のメンバーを中心に結成されたアカペラチーム「エルフィッシュ」が、初めて講師役に挑戦。地元のチームが講師をすることで、アカペラを身近に感じてもらうという作戦です。真野さんは「地元のチームを増やしたいです。このレッスンでアカペラに関心のある方が集まり、チームを作る機会になれば」と期待を込めます。

### アカペラで豊岡を元気に

真野さんは「アカペラは、体一つで、気軽に、誰にでもできます。生身の体から発するハーモニーなので、温かい音楽です」と魅力を語ります。「市民はアカペラに接する機会が少なく、私もアカペラコンピックに携わることで、アカペラに出会った者の一人です。これからも、この大会を通して、豊岡や但馬の方にアカペラの楽しさを知ってもらいたいです」と目を輝かせていました。

学校探検

中学校編 ②

# 豊岡北中学校(豊岡)

案内者 紙谷龍馬くん(3年2組)



豊岡北中学校の在校生は663人で、但馬地域で一番生徒数の多い学校です。

同校に通う生徒会長の紙谷龍馬くんは、70人もの部員が所属する

野球部のキャプテンを務めています。

紙谷くんは「野球部の練習は楽しいです。試合に勝ったときは、自分たちが成長していることを確認できてうれしいです」と話します。



春の但馬大会で3位になり、現在、7月に開催の但馬中学校総合体育大会に向けて練習に励んでいます。「目標は全国制覇!」と力強く宣言する紙谷くんは豊岡北中学校を紹介

してもらいました。

\*\*\*\*\*

豊岡北中学校には特徴ある取組みがいくつかあります。

「KBS(北中ボランティアサークル)の活動」では、夏休みにコスモス

荘などを訪問し、高齢者と交流したり、花(チ

ューリップ、スイセンなど)と野菜

(サツマイモ、トマトなど)を育てたり

しています。



「あいさつ運動」は、週ごとに生徒会役員が交代で学校の玄関前に立ち、登校する生徒に声をかけます。あいさつが返ってくることも気持ちが良いです。

また、6月に「あいさつ強

化週間」を設けます。

「リサイクル活動」は、牛乳パックやベルマークなどを集め、

集めたものを関係団体に送り、ワクチン購入に役立ててもらいます。昨年は牛乳パックを約8万3千枚集めたので、今年には10万枚を目標に集めたいです。9月には、学年ごとに多く集めたクラスで、1〜3位の順位を決め、表彰する予定です。

また、「ユニセフへの募金活動」にも参加しています。「リサイクル活動」や「募金活動」は、「あいさつ強化週間」に合わせて行いますので、この週はとても忙しくなります。

僕たちは、但馬地域で生徒数が一番多い学校というだけでなく、あいさつ運動などの特徴ある取組みを行うことで、内面も磨いて、但馬地域で一番元気な中学校を目指しています。



## 笑顔の輪

あらゆる場面がシャッターチャンス!!

### どんぐり会(豊岡)

美しい風景、素敵な笑顔。心を揺さぶるさまざまな場面に出会い、シャッターを切る。

どんぐり会は、但馬文教府、みやま学園の写真講座で知り合った仲間が集まって、平成21年に結成しました。

メンバーは現在11人。サークル名の「どんぐり会」は「写真の腕前はみんなどんぐりの背比べのようなもの」ということから付けられたものです。

メンバーのほとんどは、他の写真サークルなどにも属しています。が、この会でも不定期に集まり、撮影会を行っています。世話人の河原久一さんは「文

政府の講座で知り合った仲間

が楽しい」と魅力を語りま

す。

同会は、今後も地元を愛着を持ち、それぞれの思いを込めた作品作りを、楽しみな

ら続けていきます。



▲文教府で開催された「どんぐり会写真展」で

の写真展を毎年開催しています。

4回目の今年、5月9〜20日までの開催期間に、約200人の方が来場しました。河原さんは「写真は自分の思いを自由に表現できる。そ

ら続けていきます。